

吉田会長よりメッセージ

今回の組織改革（人事異動含む）はおよそ10年振りの大改革です。皆さんも大きな改革の一つととらえ行動して下さい。

ところで組織の必要条件は何でしょうか。群れとか集団とどう違うのでしょうか？

組織とは、

- ① 構成員がいること
- ② 共通の目的と意志があること（その会社の事業目的を達成しようという共通の意志）
- ③ 共通の理念をもつこと（その理念に共感して、その組織に加わること）
- ④ 命令の権限とそれを全うする義務があること
- ⑤ 共通の情報環境を作ること

（スムーズな情報伝達・開かれた組織・見える化・・・）  
この様な条件が揃うことにより、群れや集団との違いがあるのです。

しかし組織（制度・仕組み）は号令一下いくらでも変えることが出来ますが、その会社の風土とか体質は中々変わりません。「言い

出っぺが損をする」「自分の意見などとき人れられない」と多くの人が思っている組織では、いくらその組織（制度・仕組み）を変えてみても、その会社はじり貧になつて衰退していくのです。

皆さん方一人一人も、「どうせ自分の意見などとき人れないのだから、言われたことだけをやっておこう」と考えるのか、それとも「光洋マテリアの成長・発展のために言うべきことは言う」という信念を持って行動するか、この機会に今一度考えてみて下さい。

また、ひとの気持が変わっていくのは一方的な上からの指示命令でなく、上司自らが先頭に立って「一緒に変わろう」という姿勢をみせ、また部下も「変えよう」という意志をもった時です。「変わる」と「変えよう」が一体化した時、はじめて企業体質が変わっていくのです。

今回の組織は課長↓次長↓部長↓役員という様に、積み上げていくピラミッド組織です。ピラミッド組織は指揮命令系統がはっきりしていて、上からの命令が下まで届きやすくなります。

しかしその反面、良いアイデア等があつても、その判断はまず直属の上司へ、その上司はさらにその上司に理解を求めるといいう形で、アイデア等の実現に時間がかかってしまうというデメリットもあります。

現代の様に変化がめまぐるしい時代に「これが理想の組織だ」というものはありません。最も大切なことは社員一人一人がいかに変化に対応していけるかということです。もしピラミッド組織で対応できない問題が発生すれば、部と部を横断するプロジェクトチームを作るなどして臨機応変に対応することが必要です。

今まさに世界では「第4次産業革命」と呼ばれている変革期の真っ最中です。これまでの産業革

# 十数年ぶりの大改革！ 変わる！光洋マテリア 新組織体制

浅香社長よりメッセージ

4月より組織体制を変更します。新しい年号が発表される4月1日に、当社の新しい組織体制がスタートします。

昨年1月より執行役員制を実施し、責任・役割分担を明確にし、スピード感がある組織に変更しましたが、未だ道半ばと感じています。また、当社は海外事業所の開設時以外は人の異動は殆どありませんでした。今回は各営業部門の部長長の意見を集約して組織変更を検討してもらいました。従来の補充的な人事異動ではなく、戦略的かつ将来を見据えた人事になったと考えています。光洋マテリアの5年後、10年後の事業発展のスタートの年になると思います。

当社を取り巻く環境は大きく変化しています。今年の年初にトヨタ自動車の豊田章男社長が述べた言葉が印象的でした。「約100年前、米国に1500万頭いたと

される馬は、現在1500万台の、自動車に置き換わりました。いまはその時と同じか、それ以上のパラダイムチェンジを迎えているのではないのでしょうか。まさに自動車業界は100年に一度の大変革期の時代に入っていると、日々実感しています。技術革新が急速に進み、新しい競争ルールで、新しいライバルたちと、勝つか負けるかではなく、生きるか死ぬかの闘いが始まっています。」日本最大の企業トップの強い危機感が感じられます。

振り返って、当社にそれだけの

危機感があるのでしょうか？過去、リーマン問題等何回か危機的な状況はありましたが、自動車産業の規模拡大、サプライヤー等の協力もあり、この10年余りは順調に売り上げ規模を拡大してきました。

私も含め、「現状維持でしょうか？」と思っていたのでしょうか？本当に信頼され、提案力と機能とスピード感を持たない企業は、ユーザーからもサプライヤーからも見放されます。

命より速いスピードで、想像を絶する世界へと変貌しています。明日何が起るか、また何が起ってもおかしくない世の中ですが、我社にはどんな世の中になっても通用する「普遍にして不変である宇宙真理の体現」という経営理念があります。我々一人一人がこの理念の考え方を腹の底まで落とし込み「変わろう」と「変えよう」の一体化を目指しましょう。

「新しい光洋」へ、そして「未来ある光洋」を創り上げましょう！

2019年4月1日、ついに5月からの新元号「令和」が発表されました。そして、光洋マテリアも新たな体制で新年度がスタート。今回は、新体制となる取締役会・執行役員会・営業本部についてご紹介いたします。まずは、吉田会長・浅香社長から新体制についてメッセージをいただきました。

変化しない企業は淘汰されます。光洋理念を再度思い起こしてください。今、変わらなければ社の将来はないと思います。今回の組織変更は、100年企業を目指す当社のスタートです。必ず成功させましょう。

